

事務事業シート 対象事業年度 平成 24 年度

コード

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

■ 計画 ■ 事業化 事業 ■ 管理

個06事02

政策名	1 グローバルロジスティクス港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	06 船舶の安全かつ円滑な入出港を確保する					継続	維持
事務事業名	02 東航路整備事業		事業期間	連携課			
目的	東航路を拡幅・増深し、大型化するコンテナ船を安全かつ効率的に受け入れます。					事業 根拠 法令等	平成17~26年度
概要	整備場所: 東航路 内容・規模: 整備主体である国土交通省との予算及び工程管理に関する協議(増深-15m→-16m、拡幅500m→580m) 総事業費: 約260億円 事業手法: 直轄事業						
事業着手時点の 評価	増加する大型コンテナ船を安全に受け入れることにより、名古屋港の国際競争力が向上し、輸送の効率化により、輸送コストが削減される。費用対効果については、飛島ふ頭南地区コンテナターミナル整備事業全体にて算出しており、費用対効果(B/C)は6.8です。					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の 実施予定	引き続き、国が航路浚渫を行い、その内容に関して国との協議を行う予定です。					関連 シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した 内容・結果	国が航路浚渫を行っており、その内容に関して国との協議を行いました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
総事業費 計	千円	6,401,454	5,496,259	1,758,437	900,000	968,160	(款項目節) 歳出: 建設費/整備費/直轄事業負担金/負担金、補助 金及び交付金
名 管 一 般 会 計	直轄	千円	4,267,636	3,664,172	1,172,291	600,000	645,440
	事業会計	千円	2,133,818	1,832,087	586,146	300,000	322,720
人員費相当額 計	千円	2,631	2,575	2,544	2,586	1,482	(算出計算式) 本組合の負担割合は、事業費の3分の1
正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.17	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計(国費除く)	千円	2,136,449	1,834,662	588,690	302,586	324,202	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	26	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	22.9	16.8	8.6	3.4	4.6	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を 100とした事業費(当初予算額)の割合で す。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初 予算額(目標)×100で算出しています。
	実績	24.4	21.0	6.7	3.4	3.7			
	達成率(単年度%)	106.6	125.0	77.9	100.0	80.4			
	達成率(累計%)	54.6	75.6	82.3	85.7	89.4			
事業進捗率、達成 率の補足説明									

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			船舶の大型化に対応して、安全かつ円滑な船舶入出港を確保するため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
引き続き、計画どおり事業を進めていきます。				